

令和2年2月7日

報道関係者各位

三重県道路インフラメンテナンス協議会 事務局
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
三重県 県土整備部
中日本高速道路株式会社 名古屋支社 津保全・サービスセンター

第2回 橋梁点検現地講習会を開催します


～ 将来的に有効な手段としての可能性を秘めた新技術 ～

三重県道路インフラメンテナンス協議会は、三重県内の道路管理者が適切に道路インフラの点検・補修ができるよう、道路橋等の点検計画策定や地域一括発注、現地点検講習会等に取り組んでいます。厳しい財源状況や技術者不足といった制約の中で、今後の社会インフラの老朽化に適切に対処していくためには、インフラの効率的な維持管理を可能とする新技術の開発・活用を進めていくことが必要となります。

今回、点検・診断技術やモニタリング技術における分野において、効果的・効率的な維持管理の実現に向けて新技術を開発・利用している取組みについて、国、県、市町の職員を対象とした「令和元年度 第2回橋梁点検現地講習会」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 日 時 令和2年2月13日(木) 14:30～16:00
2. 場 所 一般国道23号BP 舞出第一高架橋 高架下 A1-P5間
(三重県松阪市舞出町地先)
3. 内 容 (1)飛行系ロボットにより構造物・損傷箇所を撮影する技術
(2)赤外線法によりコンクリートのうき・剥離を非破壊で検出する技術
(3)アーム型の機械でコンクリートのうき・剥離を非破壊で検出する技術
4. 参加対象者 協議会に所属する実施担当者 約30名
5. 取材について 講習会終了までとさせていただきます。
6. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、松阪記者クラブ
7. 問い合わせ先
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
副 所 長 鈴木 克章 (すずき かつあき)
総括保全対策官 池田 泰幸 (いけだ やすゆき)
電話:059-229-2222 FAX:059-229-2380

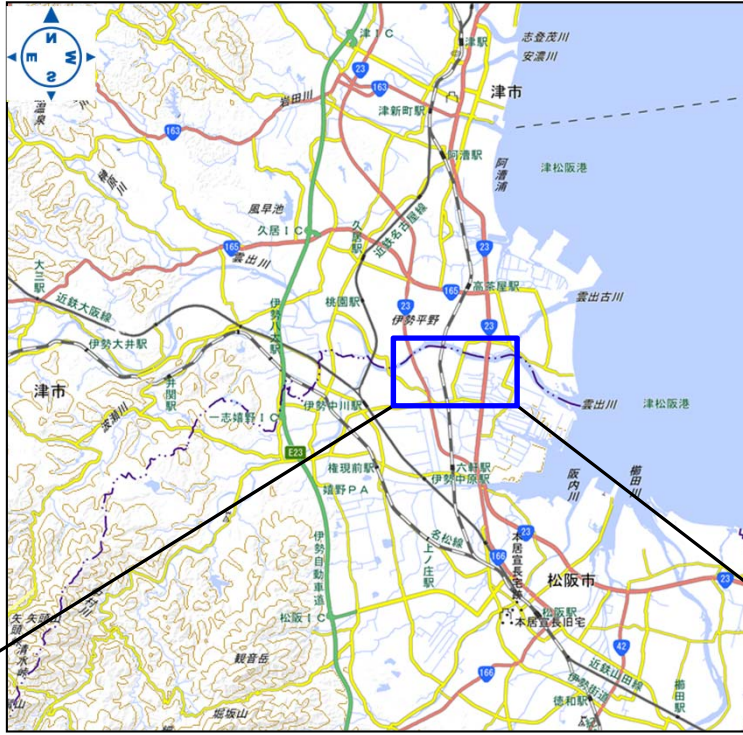
 **雪道の走行にご注意下さい!** こちらをチェック⇒冬のドライブなび中部<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

会場案内図

日時: 令和2年2月13日(木) 14:30~16:00

場所: 一般国道23号BP 舞出第一高架橋 高架下 A1-P5間
(三重県松阪市舞出町地先)

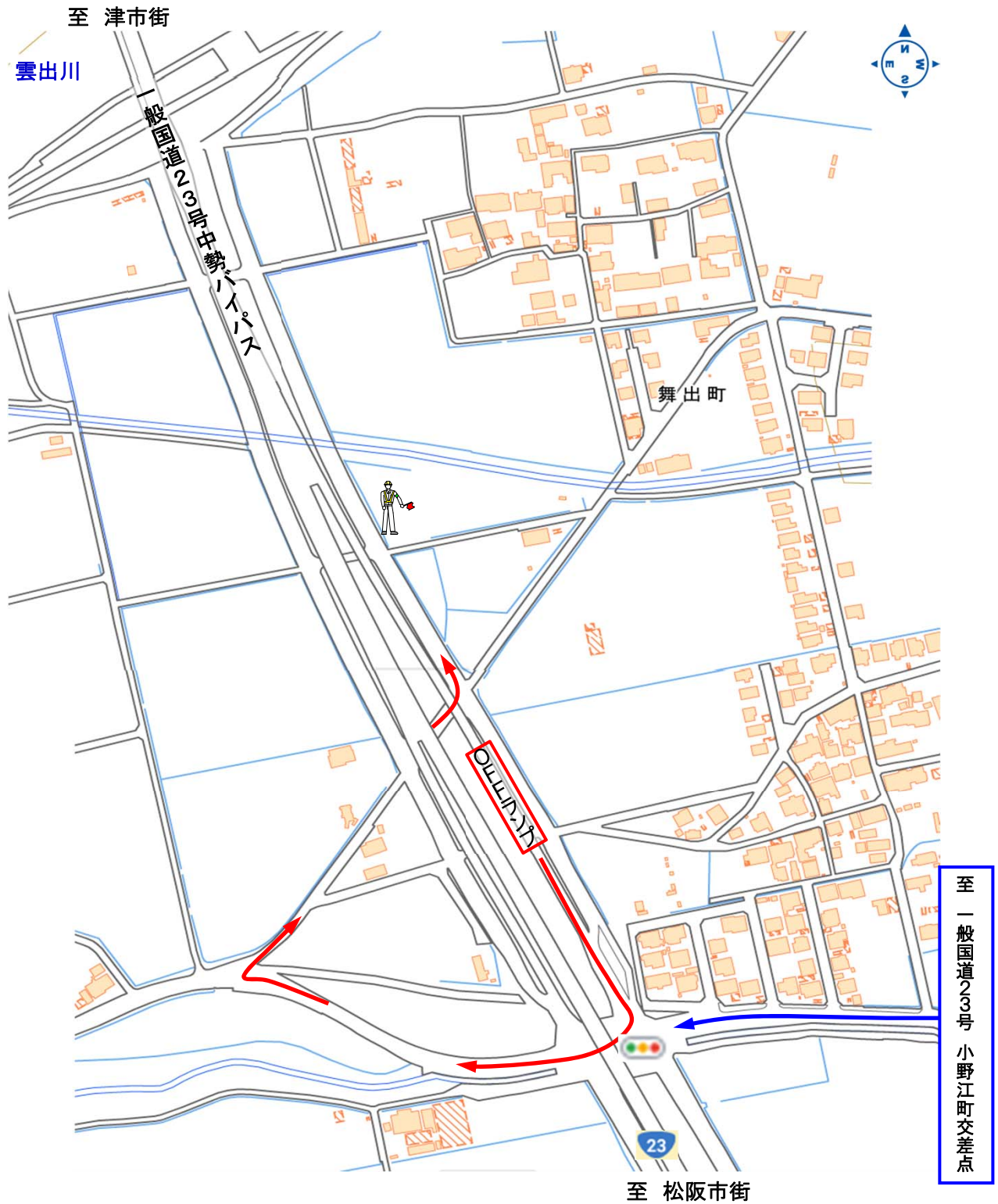


現地詳細案内図

津方面からは中勢バイパスOFFランプを降り信号交差点を右折して → の経路で進入し案内人の指示に従って桁下駐車場へ駐車してください。

松阪方面からは一般国道23号小野江交差点を左折して → と → の経路で進入し案内人の指示に従って桁下駐車場へ駐車してください。

※駐車場はP4-P5間、P5-P6間のP5側に用意しております。



三重県道路インフラメンテナンス協議会とは

三重県内における道路インフラの維持管理・補修・更新等を効果的・効率的に行うため、交通上密接な関係を有する道路管理者等が相互に意見調整・情報共有を行い、道路インフラの点検結果や修繕計画等について協力することにより、円滑な道路管理を促進し、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図ることを目的として、平成26年3月18日に設立。

メンバー

国土交通省中部地方整備局、三重県、中日本高速道路株式会社、
県内29市町、(公財)三重県建設技術センター

協議会の主な活動

自治体職員の技術力向上を目的とした現地講習会等の実施

令和元年度の実施状況

橋梁点検講習会	法面講習会	橋梁補修技術セミナー
 <p>新技術 R1.8.5</p>	 <p>R1.11.19</p>	 <p>R2.1.23</p>
 <p>溝橋 R1.8.5</p>	 <p>R1.11.19</p>	 <p>R2.1.23</p>

道路の老朽化対策パネル展(R1年度)

- 道の駅「津かわげ」(H31.4.1～)
- 道の駅「関宿」(H31.4.1～)
- 道の駅「いが」(R1.7.30～8.30)
- 紀勢自動車道 紀北PA(R1.9.11～9.30)
- 桑名市役所本庁舎4F(R1.10.9～10.31)
- 鳥羽市役所本庁舎2Fロビー(R1.10.21～10.31)
- 道の駅「海山」(R1.11.1～11.30)
- 川越町役場本庁1Fロビー(R1.11.25～12.6)
- 尾鷲市中央公民館1F展示室(R2.1.16～1.29)
- 御浜町役場1Fロビー(R2.1.30～2.12)

- 開催中
- 開催中
- 終了
- 終了
- 終了
- 終了
- 終了
- 終了
- 終了
- 開催中



予防保全を推進



メンテナンスサイクルの構築

- 点検は、維持管理を行う上で、重要な第一歩。
- 点検から始まる、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築して持続的に進めて行く事が重要です。

記録



各種点検結果や補修等の履歴を記録保存



点検

点検



定期的に点検し、損傷状況を把握、診断

記録

メンテナンス
サイクル

診断

道路管理者の決定

措置



補修等の計画に基づき、効率的に補修等を行う



措置

診断



定期点検結果に基づき、専門家で損傷原因に関する所見をまとめ、対策区分を判定し、補修等の計画を策定

宛先:国土交通省 三重河川国道事務所
三重県道路インフラメンテナンス協議会事務局 宛
FAX:059-229-2380

申 込 用 紙

申込期限:2月12日(水)12時まで

令和元年度 第2回橋梁点検現地講習会

日時:令和2年2月13日(木) 14:30~
場所:一般国道23号BP 舞出第一高架橋 高架下

社名: _____

担当者氏名: _____

連絡先: _____

※天候等で当日中止となる場合に連絡させていただきます。

人数: _____ 人